公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第十回　理事会　議事録

開 催 日：令和元年１０月２９日（火）

開会時間：２０時００分

閉会時間：２２時３０分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　板元　幸仁　君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　鈴吉　美絵　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　田上　俊介　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　盛田　啓仁　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　木野田　幸平　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

本日もお集まり頂きありがとうございます。先日、１０月例会が開催されました。その前に家族を呼んでレクレーションをしましたが久々の家族例会であったと思います。今年度は、拡大が成功していて家族も増えていますがこの団体の未来ビジョンにあります共感の輪を広げることができているのか？自分だけが青年会議所に属して運動をしている気にならずに家族や会社にしっかりと共感を広げることができているのかを今一度しっかりとやってもらえましたらと思います。残り２ヶ月となり例会と総会のみとなりましたが、今年度担いの元、様々な活動・運動を実施しましたが成功したとこと、課題が残ったところなど経験したものにしかわからないことをしっかりと次年度以降に引き継いでもらえたらと思います。また、先日霧島ハッピーハロウィンが開催されました。ＪＣで起こした事業が多くの来場者を集めておりました。運動は１回ではなかなか浸透しないこともあります。ニーズを捉えていたからでもありますが、継続して実施する事で文化となるのではないかと思います。そこまで昇華させることは難しいことだと思いますが単年度制で理事長も変わってしまいますが、しっかりとテーマをもって継続して実施する事で最終的な目的の明るい豊かな社会となるのではないかと思います。小言っぽくなってしましましたが、終わりよければすべて良いというわけではないですが１２月３１日までしっかりとやりきって次年度に引き継いでいければと思います。

1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1. 顧問挨拶

欠席のため割愛

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：鈴吉副理事長、重野委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | ○ | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | 〇 |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | 〇 | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | ○ | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中１０名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | × | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | 〇 | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | × |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で２名出席により定足数を充たしていることを確認した。

オブザーバー　古川くん

１３．議題並びに資料の確認

審議事項２件　　協議事項　２件　　連絡・報告事項４件　となっております。

１４．議事録承認の件

鈴吉　　：指摘を数点させて頂き問題なく修正されていたことを報告させて頂きます。

重野　　：確認のうえ適正に処理されていることを報告させて頂きます。

１５．議題

審議事項１：正会員承認（西村　君）の件

木野田　：正会員の承認に関しまして上程させて頂きます。スケジュールは本日をもってクリアしております。

板元　　：古川君も本日の理事会をもってスケジュールをクリアしております。

南郷　　：仮会員費に関しては、二人とも入金の確認できております。また、会費・互助会の請求書に関しましても適正に作成されております。

蔵元　　：正会員の意思は確認できていますか？

板元　　：両名確認できております。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。

審議

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認（古川　君）の件

審議

全会一致で審議可決

藏元　　：委員会は決まっていないとのことですが、皆さんでしっかりとフォローしてもらえましたらと思います。

協議事項１：２０１９年度８月通常総会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：２回目となります。日数は短かったのですが事前配信させて頂き意見対応させて頂いております。

重野　　：正副の意見対応を青字にて修正しております。

南郷　　：決算書について特に問題ありません。

常盤　　：中身については、特に意見はありませんが注意点に関しては次の１２月総会でしっかりと実施するようにしてください。

重野　　：同時進行で、１２月総会の計画を作成しておりますので対応していきたいと思います。

鈴吉　　：審議繰り上げ動議

セコンド　南郷　板元

全会一致で審議可決

藏元　　：今一度、財審の方より先ほどの件を説明お願いします。

南郷　　：領収の原本も確認出来ております。特に問題ありません。

藏元　　：他に無きようでありましたら審議を諮りたいと思います。

　　　　　審議

全会一致で審議可決

協議事項２：２０１９年度１２月通常総会計画書並びに予算書（案）について

鈴吉　　：８月総会と同じく事前配信させて頂いております。

重野　　：正副での意見並びに事前配信の意見に対応させて頂いております。多く意見頂きました回覧板に関してですが、資料の方を追加しております。

板元　　：タイムスケジュールですが、第５号議案のその他が５分とっていますが、基本ないことが多いので他に振っても良いのかなと思います。意見です。

重野　　：確かにあまりないのですが、確認してみます。

南郷　　：予算書に添付している見積もりですが、不要なものを削除し、会場費に関してはＦＡＸではなく原本を追加してください。

重野　　：出席システムの見積もりは参考に移動します。

木野田　：質問です。回覧板を実施する事で出席率が向上する根拠があれば教えてください。

重野　　：会員の皆様には負担はかけるのですが、顔の見える出席確認をして横の繋がりをもって出席率の向上に寄与できると思っております。

木野田　：顔の見えるということですが、今までも委員長が例会の案内をしていると思いますが違いはなんですか？

重野　　：会社や自宅に行くことで違う効果が表れるのかなと思います。

木野田　：委員長がまわるのですか？

重野　　：理事長より各委員会に伝えて委員会ごとで次の人に伝えていき最後は会館に届けてもらう予定です。

木野田　：前回の調整さんと同じく欠席の人が多い時に悪い影響はないのでしょうか？

重野　　：出席の見える化については、お互いで声をかけていこうという願いを込めて実施しておりますので、前向きに考えて頂けましたらと思います。

木野田　：結果が伴っていないので、フォロー体制なども考えて、もうひと工夫してもらえましたらと思います。

田上　　：木野田副理事長と同じことですが、やることは良いのですが悪い方向にいた時を考えて対応してもらえましたと思います。

木野田　：回覧板に委任状も入れるとなっておりますが、なくなった際はどうのように対応しますか？

重野　　：再度、とるようにします。

木野田　：二度手間とならないように対応してもらえましたらと思います。

重野　　：しっかりと注意してもらえるようにします。

板元　　：参加人数の箇所は仮会員５名ですので修正してください。はがき代は予算書に要らないのですか？

南郷　　：今年度に関しては事務局で対応しております。

鈴吉　　：今回はハガキではなくＡ４用紙に委任状をコピーして回覧板に入れるように考えております。

盛田　　：回覧板の流れについて確認ですが、委員長がメンバーのところを回るのでしょうか？

重野　　：もらった人が次の人に回すような仕組みを考えております。

盛田　　：なかなか時間が合わなかった時などの対応方法があれば教えてください。

重野　　：各委員会に任せようと思っております。総務であれば難しい際は自分が回るようにしようと思っております。

井上　　：アンケートについてですが、議題内容が次年度についてですのでアンケートに追加した方が良いと思います。また、新しい取り組みをするのであれば、そこについて検証しても良いのかなと思いますので、アンケートに追加した方が良いと思います。重野委員長が何を確認したいのかをもう少し考えたうえでアンケートの作成をすると良いかと思います。

重野　　：参考にさせて頂きます。

常盤　　：回覧板について、自分は新しい取り組みとして良いのですが、多く意見が出ておりますのでなった時にどうのようにするのか対応の仕方をしっかりと委員会で話をしてみてはどうでしょうか？また次回審議となりますので委員会以外の会員にも確認してみてはいかがでしょうか？

重野　　：対応させて頂きます。

蔵元　　：多く意見が出ておりますので、資料が足りてないのかと思います。来年度する人もわかるように資料をしっかりと作りこんでください。あと、案内文も回覧板に入れるとのことですが、案内文が早く届く人と遅く届く人が出てくるのでしょうか？

重野　　：まず、メールで流したうえで回覧板に一部入れたいと思います。

蔵元　　：総会ですので、失礼のないように対応お願いします。また予算書と整合性が取れていませんので修正してください。また、委任状については元々挟んであるのでしょうか？

重野　　：メンバーの数だけ挟んで回す予定です。

蔵元　　：委任状と案内文は別かと思っておりました。案内文の内容に返信期限がありますので修正してください。新しいことにチャレンジすることは良い事で今年度の重野委員長は色々とやってくれているので感謝しておりますが詰めが甘いです。最後に次年度の案件ですが基本方針なのか事業計画なのか、しっかりと確認していてください。

前田(大)：以上で、２０１９年度１２月通常総会計画書並びに予算書（案）を閉じさせて頂きます。

南郷　　：休憩動議

　　　全会一致で２０：５５まで休憩となる。

協議事項３：２０１９年度９月例会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：１回目となります。詳細は委員長より説明致します。

重野　　：９月例会の報告書となります。正副での意見について対応させて頂いております。

板元　　：引継ぎ事項に雰囲気を作る意識をしてくださいとありますが、日ごろからの声掛けをするという点も追加してもらえましたら参加促進について意識できるのかなと思います。

重野　　：来年度の委員長が意識できるように記載したいと思います。

盛田　　：例会と関係ないのですが、講師が対極に座っている形だったので懇親会でもしっかりと会員と話ができるような設えがあると良かったのかと思います。

重野　　：確かに新しいメンバーなど、話ができるように考える必要があったと思います。

田上　　：講師承諾書に関してですが、自分も正しいのかわからないのですが誰かの意見をもらって作成しているのですか？

重野　　：委員会メンバーの立和田さんに他の承諾書等を見比べて恥ずかしくないものを作成しております。

田上　　：内容よりも講師承諾書の使い方や説明の仕方がよくなったのかなと思いますので含めて検討してください。

重野　　：

木野田　：今回９０％を目標にしていたと思うのですが、そこに関する対策が例会のメインプログラムを継続して実施することが必要とあるのですが正しい対策なのでしょうか？

重野　　：例会に来ないと損するという雰囲気を日頃より作ることで、参加促進に注力しなくても会員が集まる良い例会となるのかなと思います。

木野田　：９０％に達しなかったというものに対しての対策ではないのかなと思いますので修正してください。

重野　　：その様に対応させて頂きます。

井上　　：講師承諾書の使い方について意見がありましたが、講師の方とも懇親会で話をしたのですが、見方がすべての権限が霧島ＪＣにあってＳＮＳ配信などしますという点について怒っていたと思います。講師の方も拘りをもってやっている方ですので、ただサインをしてくださいでなく説明がしっかりとしないといけないのかなと思います。講師の方も時代に即してない、無償の講演に対しての内容ではないと言われておりましたので、組織として書式を変えることができないのであれば講師の意向を確認したうえで説明をしっかりとすると引き継いでいければと思います。

重野　　：その様に対応致します。

前田(大)：自分もとても良い例会だったと思います。出席率に関して誰が来てないのかと見ると欠席の人が定着化しているのではないのかなと思います。本年度は新しい取り組みもやっているので、動画配信など次の人がチャレンジできるような引き継ぎをしていけばいいのかなと思います。所見も暗い感じになっていますので検討してください。

重野　　：参加促進は引継ぎの方に対応させて頂きます。所見も改めて作成します。

蔵元　　：講師承諾書に関しては委員会の方が生の声を生きておりますので、申し訳ないですが対応お願いします。お礼の方は行かれていると思いますが、計画の段階でお礼文を作成するなど、普段会える方は良いのですが難しい方もいますのでお礼についても失礼のないように対応出来る様にしてください。

前田(大)：以上で、２０１９年度９月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項４：地域に貢献できるひとづくり報告書並びに決算書について

鈴吉　　：９月の事業ですので日にちがたっておりますが、よろしくお願い致します。

重野　　：参加員数が思わしくない結果となってしまいました。事業内容は、意図したとところであったのですが、目的に導くまでに至らなかったと考え問題点並びに所見に記載しております。１ヶ月後アンケートについて工夫が必要と考え記載しております。

南郷　　：決算書の原本等をまた確認させてもらえましたらと思います。また、表題に（案）となっていますので削除ください。もう一点、検証について審議後すぐに案内を流したが効果が薄かったとあるのですが、全体的に検証として弱いので詳細を記載してください。

重野　　：参加促進に対する検証はしっかりと記載して参ります。

橋　　　：１ヶ月後アンケートについて、次回はどの様にした方が良いと思いますか？

重野　　：中間のアンケートを入れて対応したいと思います。

橋　　　：もう一点、所見については原因と対策を記載してください。

盛田　　：意識付けができるようなアンケート内容や仕組みを記載の上で引き継いでもらえましたらと思います。

重野　　：引継ぎ事項を充実させたいと思います。

常盤　　：アンケートの回収率が悪いですが、回収はもうやめたのですか？

重野　　：回収率は悪かったです。参加者に対して何度か声掛けをしているのですが、内容を覚えていないという回答が多かったため、この様な記載とさせて頂きました。

常盤　　：回収方法まで計画の中で考えておくと良いかと思います。

重野　　：そこまで考えて次年度へ引継ぎさせて頂きます。

蔵元　　：研修事業としては、良い内容だったと思いますが今意見のあった点など残念であったと思いますのでそこまで引継いでもらえましたらと思います。また、自分の声掛けで来た人もいるのですが誰が返答がきてないという情報を頂けましたらと思いますがわかるものですか？

重野　　：無記名での記載となっておりますので、把握できておりません。

蔵元　　：そこら辺を含め引継ぎをお願いします。

重野　　：参考にさせて頂きます。

前田(大)：以上で地域に貢献できるひとづくり報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

協議事項５：新入会員オリエンテーション修正議案について

木野田　：９月開催後に新たに増えた会員とおりますので修正議案という形で上程させて頂きます。予算、場所、日時が変更となっております。

板元　　：予算については、かからない形となっております。講話については動画の方で対応したいと思っております。

鈴吉　　：書き方についてですが、赤字部分を足すという考え方でしょうか？

板元　　：一度審議を頂いている議案ですので、変更箇所を赤字にて対応しております。

鈴吉　　：であれば、予備日の記載がわかりにくいと思います。あと２０日で予定をしていたのに欠席であった別府君を２０日でしなかった理由はありますか？

板元　　：予備日の開催について天候等で開催できなかった際に予備日としておりました。

重野　　：アンケートの結果を踏まえ精査すると意味がでてくるのかなと思います。

板元　　：日時と開催場所について審議を頂く形となっており、今回の件が終了後に報告とさせて頂こうと思っております。

盛田　　：牟田さんの話についてですが動画であれば、どの様な人であるのかわかるように設えて頂けましたらと思います。

板元　　：牟田さんの動画の前にしっかりと説明を入れたいと思います。

前田(大)：日時については仮会員のスケジュールを確認の上で設定されているのでしょうか？

板元　　：予備日を含め伝えております。

前田(大)：会員に対しては？

板元　　：再度、会員に向けてメールにて案内をさせて頂きます。

前田(大)：会員が少なくていいという訳ではないので、しっかりと案内をお願いします。

板元　　：参考にさせて頂きます。

鈴吉　　：日時について例会の次の日ですが、大丈夫でしょうか？

板元　　：連日となりますがという事で話をさせて頂いております。最後までしっかりと声掛けをしていきたいと思います。

常盤　　：２０日について理事役員は出席して欲しいというスタンスですか？

板元　　：はい。

常盤　　：２回出席する理由はありますか？

板元　　:再確認の機会と新たなメンバーに対するフォローと考えております。

常盤　　：可能であれば、前回出席していない方を中心に声をかけた方が良いかと思います。議案と関係なく動ける部分だと思いますのでお願いします。

板元　　：当日までに最善の方法を考えたいと思います。

木野田　：審議繰り上げ動議

セコンド　盛田　重野

全会一致で審議事項となる。

蔵元　　：意見・質問も出尽くしておりますので審議を諮りたいと思います。

審議

全会一致で可決される。

連絡報告事項　４件

監事講評

井上：本日２名の正会員承認がありました。ありがとうございます。自分も含めてですが新入会員が増えるなかでまだコミュニケーションをとれていない人もいますので、溝ができない様に積極的に関わりをもってもらえればと思います。他は報告関係が出てきましたが、ＪＣの中で報告書がもっとも重要であるので、事業を終えてホッとするのではなく次の人のために何を伝えたら良いのか、どの様な情報を与えたら良いのかを考えて構築頂けましたらと思います。次年度も始まっている中で大変かと思いますが２０１９年度しっかりと締めくくれるように頑張っていきましょう。

常盤：全体を通してですが、議案が少ないのもありますがスムーズな運営ができていたと思います。また本日はオブザーバーも来て頂いております。少しでも発言等の勉強になればよかったと思います。報告事項について８月総会の報告が通りました。重・・野委員長も次年度は指導する立場となりますので今一度７・５・３のルール等頭に入れて作成してください。残り２ヶ月となりました。今一度、役を受けたうえで何を成そうと思っていたのかを振り返ってもらえましたらと思います。気温も低くなってきましたので体調には十分に気を付けてもらえましたらと思います。

次回開催

令和元年　１０月１２日　　第１１回正副理事長会議

令和元年　１０月２６日　　第１１回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重野　隆太　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　田上　俊介　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　重野　隆太　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　常盤　大和　　　　　　　　　㊞